

平成 26 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	都市整備課
基本構想	戦略的行政運営
重点的方針	2. 総合計画に基づいた政策マネジメントの推進
分野別方針	(3) 適切な土地利用の推進
実施計画事業	1) 土地利用調整事業 (No.88)

	予算事業名	事業費 執行率 (%)	総合評価
01	一般経費 (都市マスタープラン等改訂事業)	75.3%	A
02	開発等指導事業	—	A
03	都市計画審議会経費	41.2%	A
04			
05			

課題 (箇条書き)	近年、土地利用が多様化する傾向にあり、これまでの住宅や店舗等の開発行為に加え、福祉施設や葬儀場、墓地など様々な土地利用が、小規模な敷地で運営されるようになってきている。既存、周辺住民の住環境保全を考慮し、町指導要綱の条例化等を検討する必要性が高まっている。
--------------	--

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない (休止・廃止)	B
	説明	既存の都市マスタープランに基づき、適切な土地利用の推進が出来ている。 また、都市マスタープランの改訂作業も、より一層の適切な土地利用推進に向け順調に作業が進められている。 開発指導については、「まちづくり条例」等、条例化することにより周辺住民や町が目指す土地利用が適切に進められるような条例化について、検討する必要性が高い。

方向性	
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施
<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	町開発指導要綱の条例化を検討する。

◎評価者[担当主管部長]	
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施
<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	更なる適切な土地利用の推進を図るため、開発指導要綱の見直しを含め、当町に適したまちづくり条例の制定を検討する。